

a 学校教育目標	自律の精神の確立と主体的に学ぶ生徒の育成	b 経営理念 ミッション・ビジョン	【ミッション】(自校の使命) 「社会のために役立つとする志を抱く生徒の育成」 【ビジョン】(自校の将来像) 「生徒が、安全で安心して有意義に過ごせて、社会人としての資質・能力を身に付けられる学校」(めざす学校像) ・安全で安心して有意義に過ごせる学校 ・笑顔忘れず、明るく温かく人に接し、「ありがとう」があふれる学校 ・夢を志に高める学校 ・自信を持ち光り輝いて行動し、活力のある学校
----------	----------------------	----------------------	---

評価計画				自己評価					改善方針	学校関係者評価				
c 中期経営目標	d 短期経営目標	e 目標達成のための方策	f 評価項目・指標	g 目標値	7月	2月	i 達成度	j 評価	k 結果と課題の分析	n 改善方針	l 評価			m コメント
					h 達成値	h 達成値					イ	ロ	ハ	
確かな学力の定着	授業改善による確かな学力の定着	自信を持って自分の思いを出し、他者と交流する中で深める(「主体的な学び」の実践)	生徒授業アンケート「考えたことなどを書いたり表現したりする時間が多く取り入れられている」の肯定的評価の割合	90%	87%	92%	102%	A	・昨年度より達成値が下回った。(R4:95%→R5:92%) ・前期より数値が向上した。 ・前期1年生の達成値に課題があったが改善した。(1年:79%→88%, 2年:93%→97%, 3年92%→95%)	・各種委員会(学校経営委員会・生徒指導委員会・研究委員会・教育相談・特別支援委員会)を中心に引き続き、組織的な教育研究・生徒指導の推進体制を構築する。 ・次年度の教育研究の重点を取組を推進し、協議や実践を深める取組を行う。 ・家庭学習の質と量を増やすための方策等を検討し、次年度の取組とする。	4	4	・家庭学習の質と量の向上に向け、学校全体で取り組まれている。また、個人懇談の時に話題にしておられ、家庭学習について保護者とも共有されている点も素晴らしい。 ・本校でもやり始めているが、授業の中で課題をレベル別に学び合いやICT等で自分で選んで学びを進める形を今後より多く取り入れられると良いと思う。ともに、研究をさせてください。 ・課題・家庭学習については、効果の面から内容・方法の見直しが必要ではないか、と本校でも話をしている。思い込みや前例などすべてを取り払い、一度、中学校区でも話がしてみたいと思う。 ・中1の学力に課題があったことから、小学校の課題として受け止めた。授業を工夫し、思考一表現の場を工夫されている授業が多かった。先生方の取組に敬意を表したい。一方で、虫食いプリントへ書く授業もあった点は、今後改善されると思う。 ・1学年の達成値が向上したのは安心した。2、3年に比べれば、もう少し継続した取組をして欲しい。家庭学習については、学習内容・やり方について生徒に周知徹底して欲しい。個人懇談でどうしているかを聞き、改善点があれば指摘し、家庭学習の大切さ・必要性を説明する。家ででの過ごし方(スマホ等の誘惑も含め)の話もする必要があると思う。	
			生徒授業アンケート「グループ活動やペア活動がよく取り入れられている」の肯定的評価の割合	90%	83%	87%	97%	B	・昨年度より達成値が下回った。(R4:89%→R5:87%) ・前期1年生の達成値に課題があったが改善した。(1年:72%→81%, 2年:89%→91%, 3年91%→88%)					4
		基礎・基本を定着させる学習習慣の確立	○「本GOノート」の効果的活用と、統一した組織的な取組 ○家庭での学習習慣を確立するための目標学習時間(最低90分以上)の達成	1月の実力テストで、各学年各教科の平均点が50点を上回る教科数の割合	80%	-	-	-	-					1
		生徒生活アンケート「家庭学習時間の目標学習時間を達成した」割合	80%	61%	59%	74%	C	・今年度前期、昨年度ともに達成値が下回った。(R4:69%→R5:59%) (前期:61%→後期59%) ・1・2年生に課題がある。(1年50%・2年40%・3年83%)	4					
豊かな心の育成	積極的な生徒指導の推進	生徒の自主自律的な活動の推進	○生徒会活動の活性化による自治的風土の醸成 ○ボランティア活動の推進 ○集団づくりの推進	生徒生活アンケート「地域や社会をよくするために何をすべきか考えている」割合	80%	68%	66%	83%	B	・今年度前期より達成値が下回った。 1年生に課題がある。(1年53%、2年74%、3年74%)	4	4	・生徒会活動や部活動の活性化が、学校の前向きな雰囲気大きく作用していると思う。部活動所属率も大変高く、生徒指導の成果がうまく出していると思う。 ・春に比べ、中学生がよく挨拶をしてくれる。	
		「生活三訓(あいさつをする・時間を守る・身だしなみを整える)」の徹底	○地域や保護者、来校者にレベル3以上(自分から会釈して)のあいさつ ○5分前行動、集会への無言入退場。 ○身辺整理(教室環境の改善)	生徒生活アンケート「地域や保護者や来校者へレベル3以上(自分から会釈して)のあいさつができる」生徒の割合	90%	88%	89%	99%	B	今年度前期より達成度が若干上回った。 1年生に課題がある。(1年77%、2年94%、3年97%)			4	・中1が実際はいろいろやっているのに、アンケート結果につながらないのは、なぜか検討していただきたい。自己評価力に課題があるとしたら、小学校教育にも課題があると考え。 ・1年生に課題がある状況が続いているようだが、確かな学力との関連性もあると思うので、相対性も含めて取り組んでください。
健やかな身体	自らの健康を自ら管理できる生徒の育成	自ら積極的に体づくりに励む	○食への感謝の気持ちの育成。(「弁当の日」の取組) ○基礎トレーニングの工夫等、体力向上の取組	体力・運動能力テストで全国平均を上回る種目の割合	80%	30%	80%	100%	A	・男女全18種目中11種目が県平均を上回った。 ・弁当の日に向け、栄養教諭によるプレゼンテーションもあり、生徒の食への関心や知識が高まった。 ・県平均を下回った柔軟性、握力、瞬発力を向上させるために、引き続き単元ごとに補助運動を工夫する。 ・体育授業だけではなく、運動の楽しさを広げられるように、昼休憩時間のグラウンド・体育館開放を生徒会による呼びかけを行う。	4	4	・7月→2月の間の成長は大変素晴らしい。運動の楽しさを生徒が感じている。休憩時間に、グラウンドを使って遊ぶことも本中の良さである。 ・来校時に昼休憩で多くの生徒がグラウンドで遊んでいる姿を見た。給食の関係で昼休憩はグラウンドで遊ぶ時間が取れない学校があるのに、ある面驚いた。 ・体力向上は、本校でも課題です。どのような取組で向上したのか、ぜひ、連携をお願いします。	
働き方改革の推進	ワーク・ライフバランスの確保	長時間勤務の縮減	・上限の目安時間を超えない時間管理の徹底(月45h) ・働く者の意識変革・醸成(ワークライフバランス) ・定時退校日の厳守	時間外在校時間 月45時間以内の職員の割合	90%	48%	51%	57%	D	・7月達成値48%から今回51%に増加した。半数を超え、少しずつ教職員に時間意識の変革が広がっている。 ・教職員の時間外勤務時間を減らすために、勤務時間内に部活動を含めるよう変更した日課を来年度は導入する。			4	・先生方の働き方改革を進むよう、日課の見直しをされることは大変意義があり、よい方法だと思う。 ・年々、職員も意識している状況が見える。学校運営体制を整える時期も来ていると思う。以前の精神論ではいけないでしょう。 ・日課の見直し、変更など、ハード面の変革は改善を大きく前進させると思う。本校でも取り組みたいと思う。

【j:自己評価 評価】

A:100≦(目標達成)

C:60≦(もう少し)<80

B:80≦(ほぼ達成)<100

D:(できていない)<60

【l:学校関係者評価 評価】

イ:自己評価は適正である。ロ:自己評価は適正でない。